

竹に学ぶ 節目と成長

本年度も早いもので、残すところあと一月となりました。個人的なことでお話しさせていただきますと、本年度初めて赴任した4月を思い出し、今日までの月日が本当にあつという間だったと感じています。

また、去年の今頃は、日南の子どもたちとともに、「卒業へ向けて1日1日を大切に過ごそう！」と声をかけ合っていたことも思いだし、今こうして五ヶ瀬の子どもたちと日々を送っていることに、人生の妙をしみじみ思います。

さて、学校にとって1年間で最も大切な行事は「卒業式」です。小学生にとっては、6年間過ごしてきた「小学生時代の自分」から卒業する式であり、「6年間の小学校生活」を締めくくる式です。そして、教師にとっては、大切に育ててきた子どもたちを送り出す式であり、後輩たちにとっては最高学年に代わり、自分たちが役割を受け継ぐことを受け止める式でもあります。

本年度の卒業生は「松田紀美香さん」「甲斐右恭君」「藤川秀虎君」「長田壘生君」の4名です。この4名が卒業に向けて様々な活動を進めていく姿を見てみると、成長ぶりの頼もしさに中学校での活躍が楽しみになるのと同時に、共に過ごす時間が少なくなってきた寂しさを感じます。

「節目（ふしめ）」という言葉があります。節目というのは、竹で言うと、あの節の部分のことです。竹は、その長さに反してとても細いですが、どんな風を受けてしなっても、折れずにしっかりと立っています。その強さの理由が正にあの「節目」にあります。もしあの空洞の竹に節目がなかったら、きっとすぐに折れてしまうでしょう。節目がしっかりしているからこそあんなにしなやかで強いのです。

人間も同じです。節目節目で自分のして

きたことをしっかりとまとめ、締めくくることで志が新たになります。なんとなく終わりを迎え、なんとなく次がスタートするのではなく、充実感と満足感をもって小学校生活を締めくくり、強さとしなやかさをもった中学生へと成長していった欲しいと思います。

ちなみに、竹の節はどのようにしてできると思いますか。育っていく過程で次々にできていくと思っっている方が多いのではないのでしょうか。しかし、実は違います。竹の節の数は、タケノコの頃からほとんど変わらず、最初から60カ所ほどあるのだそうです。そして、成長するにはそれぞれの節の間が一斉に伸びるのです。だから、一日で最高120cm伸びるものもあるそうです。一か所が2cmずつ一斉に伸びるのですから、驚きの成長にも納得ができます。

そして、竹のもつこの特徴もまた、人間に置き換えることができます。「二兎追う者は一兎も得ず」とか「天は二物を与えず」といいますが、皆さんはこの言葉は本当だと思いますか。実際は様々な体験上、「そうとばかりはいえない」ことを実感している方も多いのではないのでしょうか。自分には難しいと思っっていることでも、挑戦してみたら案外うまくいくことはよくあります。「これは得意だけど、これは不得意、だって天は二物を与えずだから」なんて言っっているのはもったいないですよ。

人も竹と同じように、心や体、能力や感性が一斉に伸びていきます。自分の限界を決めず、タイプや長短も決め込んでしまわずに、いろんなことに夢中になって伸びていった欲しいと思います。

ありがとうの反対は・・・

今年度も学校便りを読んでいただきありがとうございました。町内のいろいろな場でお会いした際に、内容への感想や「頭の

体操」への回答などをお伝えいただき、本当に嬉しいです。また、学校にも様々なお便りをお寄せいただきました。皆様がお忙しい中にありながら目を通していただいていることが本当にありがたいし、お便りを読ませていただいて、たくさん励まされ、大きな感動をいただきました。

ありがたいとは「有り難い」と書きます。つまり、そこに有ることが難しいという意味です。では反対の言葉は……。私は、「当たり前」だと思っています。当たり前だと思っていることには感謝の気持ちはわきません。皆様が学校便りを読んでくださることも、感想をくださることも決して当たり前では無いと思っています。だからこそ、心から感謝しています。

子ども達の健闘をたたえます！

◇第40回読売学生書展

条幅の部

- 金賞 3年生 西川潤実
- 4年生 岩本奏大
- 甲斐紳之将
- 5年生 菊池明楽

- 銀賞 2年生 篠村大河
- 藤本遙真
- 甲斐翔也
- 3年生 藤本琉花

- 銅賞 2年生 山中優豪
- 5年生 落合史蘭

◇新人バレーボール大会

男子・混合の部 優勝 坂本バレー

バードウォッチング

まず、野鳥に関するクイズです。

※ 人間の心拍数は1分間に約70回ですが、スズメの心拍数は1分間に約何回でしょう？

ア 約15回 イ 140回 ウ 800回

お分かりになりましたか？アの約15回は、ゾウの心拍数です。イの140回はネコの心拍数です。ですから、正解はウの800

回になります。

ご存じのとおり、心拍数は一般的に小動物ほど多く、大きな動物になるほど少なくなります。生き物の一生涯の心拍数は、ほぼ同じで、およそ20億回といわれていますので、心拍数が多いゾウは、環境さえ整えば、人間よりずっと長生きができるのです。



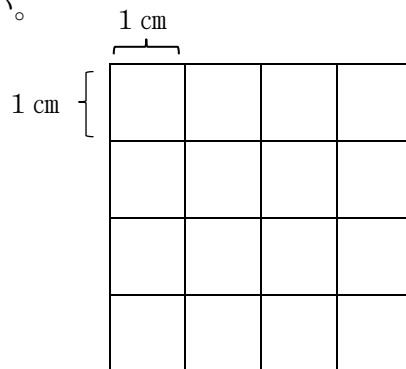
小鳥を持ってみるとおびえたようにぶるぶると震えているように感じますが、実は心臓が脈打っているところなのです。1分間に800回も脈打てば、ほとんど震えにしか感じないのも納得できますね。

バードウォッチングをお読みいただき、ありがとうございました。いつでもたくさんの野鳥の姿や鳴き声を楽しめる一区の皆様が本当にうらやましいです。ぜひ、この環境をいつまでも大切にしてほしいと思います。

おまけ 頭の体操

問題 (算数オリンピック問題)

一辺1cmの正方形のマスが縦横に四つずつ合計16個あります。これらのマスの頂点を四つ結び面積10cm²の正方形を描きなさい。



※ 答えがお分かりになったら、学校まで連絡ください。

坂本小学校の合言葉

あ あかるく
し しんげんに
た たくましく